

防災行政無線放送内容の確認

防災行政無線が聞き取れなかった場合は、下記の方法で確認することができます。

防災行政無線自動応答サービス

電話による自動応答サービス(☎63・5454)で確認することができます。
「ロクサンのゴシゴシ」で覚えてください。

たつの市ホームページ

たつの市ホームページのトップページ「防災行政無線の放送内容」から放送内容を確認してください。

防災アプリ「全国避難所ガイド」

防災行政無線の放送内容をスマートフォンでも確認できます。防災アプリ「全国避難所ガイド」をダウンロードすることで、スマートフォンから放送内容を確認することができます。いつ起こるか分からない災害に備えて、ぜひご利用ください。



～災害情報入手するには～

避難情報 テレビ、ラジオ、防災行政無線、緊急速報メール、ひょうご防災ネット、全国避難所ガイド、市公式LINE、市ホームページ、自主防災組織(自治会)や近隣住民からの声掛けから情報を入手できます。

気象情報 気象警報、台風情報等はテレビやラジオ、気象庁ホームページから、川の防災情報は、国土交通省(川の防災情報)のホームページから入手できます。

洪水情報 国土交通省から携帯電話、スマートフォンへ緊急速報メールによりプッシュ型配信されます。
※プッシュ型配信とは、受信者側が要求しなくても配信者側から情報が配信される仕組みです。

ご自宅のパソコン、携帯電話、スマートフォンから、下記のホームページを検索してください。

検索

- ひょうご防災ネット
- たつの市ホームページ
- 気象庁ホームページ
- 国土交通省ホームページ
- 川の防災情報
- 兵庫県CGハザードマップ

災害時に市の「避難に関する情報」などの緊急情報や気象情報をお知らせする「たつの防災犯犯ネット」は、こちらから➡



大雨や台風に注意し、早めの避難行動を!



これから出水期を迎えるに当たり、市では、災害に備え迅速な避難所開設や適切な避難所運営の取り組みを進めています。皆さんも、気象情報や防災情報の収集などの「災害への備え」や「避難行動」について今一度、考えましょう。**自らの命は自ら守る意識**をもって、防災気象情報や市からの情報を参考に適切な避難行動をとりましょう。

▶危機管理課(☎64・3219)

平時に確認

いざという時のために確認しておきましょう!

避難行動判断フロー

あなたがとるべき避難行動は?

スタート

防災マップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

●防災マップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

●「たつの市Webガイドハザードマップ」は、こちらから➡



家がある場所に色が塗られていますか?

いいえ

色が塗られていなくても、周りより低い土地や崖のそばにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、**原則として**、自宅の外に避難が必要です。

例外

以下の場合、自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

- 浸水の危険があっても、**
- 洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
 - 浸水する深さよりも高いところにいる。
 - 浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある。

あなた、または一緒に避難する人は避難に時間がかかりますか?

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、指定避難所に避難しましょう(日頃から防災マップで場所を確認しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、指定避難所に避難しましょう(日頃から防災マップで場所を確認しておきましょう)

※警戒レベルの詳細は、裏表紙(32ページ)をご覧ください。

災害時に、危険な場所にいる人は、避難することが原則です。

- 避難とは「難」を「避」けること。安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。
- 避難先は、避難所だけではなく、安全な親戚・知人宅に避難することも考えましょう。
- 避難所の開設状況は、市ホームページなどで確認してください。
- 豪雨時の屋外の移動(車を含む)は危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況を十分に確認してください。

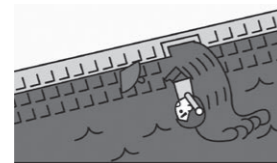


◆熱中症の予防と対策
◆エアコン・扇風機などを使用し室温を調整する
◆高温・多湿・直射日光を避ける
◆早めにこまめに水分摂取をする
◆車中に子どもを残さない
◆体が暑さに適応できるように適度な運動を心がけましょう。



暑くなってきたら熱中症に注意
もうすぐ「猛暑」や「酷暑」と言われるような、暑い夏がやってきます。梅雨の合間や梅雨明け直後の6月から7月にかけても、夏本番と比べて体が暑さに慣れていないため熱中症になりやすい場合があります。「熱中症」は、屋外はもちろん、屋内でも発症します。次のことに注意して、熱中症対策をしておきましょう。

◆河川や海の事故を防ぐためライフジャケットの着用
◆子どもから目を離さない
◆無理な遊びをしない
◆体調・天気とよく相談



2026年1月1日からの
市内の災害状況
5月20日現在

火災	13件
救急	1,501件
救助	38件

災害情報案内(自動音声案内)
☎0791・76・7150
休日・夜間病院案内(自動音声案内)
☎0791・76・7160



10年たったら交換を!
いつどこで起きるかを正確に予測することは困難です。被害を最小限に食い止めるため、日頃から災害意識を高め、備えておきましょう。
住宅用火災警報器(住警器)を点検していますか?定期的に作動確認しましょう。「住警器」は古くなると部品の寿命や電池切れなどで、正常に作動しなくなる可能性があります。設置から10年を目安に本体の交換をおすすめします。

消防最前線

241

西はりま消防組合たつの消防署(☎63・3511)